

委 員 会 報 告 書

No.1

委 員 会 名	第1回 薬物乱用防止委員会
開 催 日	2011年8月22日(月) 16:00~17:00
開 催 場 所	東京プリンスホテル 「札幌」
記 録 者	L渡貫 直正 330-B地区
出 席 者	委員長L石井征二、副委員長L寺田義和、L高谷利彦、L三好守 委員L館親光、L関口正雄、L津村信彦、L岸茂子、L島津恵右、L渡貫直正、 L木下博、財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター企画部長 阿部俊三 様 欠席L筒井直子
次 回 委 員 会	2011年10月5日(水) 14:00~16:00 場所: 330 複合地区ガバナー協議会事務局「会議室」
<p>〔確認事項を項目ごとに記載してください〕</p> <p>【議 事】</p> <p>① 今期議長方針について 330 複合地区ガバナー協議会運営方針に基づき活動する。</p> <p>② 前期(2010~2011年)委員会より引き継ぎ事項について 330 複合地区第57回年次大会で採択を決議された薬物乱用防止憲章を引き継ぎ活動することとする。</p> <p>③ A、B、C地区活動報告について A地区では、10月16日(日)日比谷公会堂において薬物乱用防止大会を開催 B地区では9月29日、10月7日薬物乱用防止教育認定講師養成講座を開く。 つづいてレベルアップ講座をもうけ各クラブに人前で話せる講師をつくる。 C地区では薬物乱用防止が、青少年委員会に包含されており、複合地区内情報交換円滑の為大嶋洋一C地区青少年委員長をMD薬物乱用防止委員会委員に委嘱、もしくはオブザーバーとして当委員会に参加できる様、石井委員長が小峰議長にお願いし武藤C地区ガバナーにお願いする。</p> <p>④ 今後の活動について 第2回委員会(10月5日)では、①B地区で立ち上げた大学との取り組みの説明をうける。 ②館委員から「戦争と薬物」日本においては東日本地震、放射線もれなど、社会不安の時に薬物の乱用が拡大する恐れがあるので薬物乱用防止教室開催に関する資料をいただく。 ③関口委員から単一クラブではなくゾーンでの取り組み方法の具体例をいただく。</p> <p>第3回委員会を12月に開催し、A、B、C地区委員と合同で委員会及び(忘年会)を開きA、B、C各準地区委員会各位及び複合地区委員会各位の交流と情報交換を図る。 今期複合委員会の運営方針⇒複合地区内、各準地区の円滑な活動を実施しこの委員会のレベルアップをはかる。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	